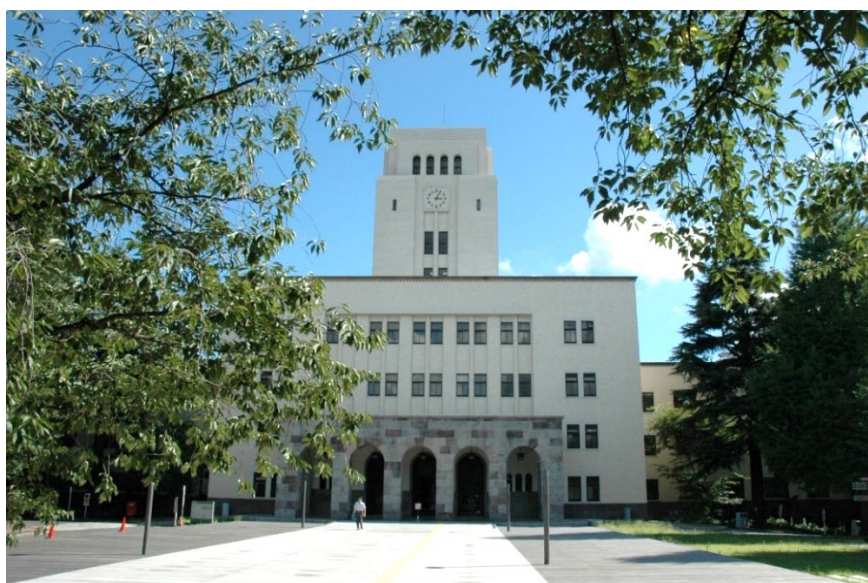


環境アセスメント学会 2022年度 第21回大会プログラム

The 21st Annual Conference Program in 2022
The Japan Society for Impact Assessment



2022年9月2日（金）、3日（土）
2-3 September, 2022

東京工業大学大岡山キャンパス及びオンラインによる
ハイブリッド開催

会場で参加予定の方へ

- ・ 会場の入り口横にあるモニターで、体温をチェックしてください。
- ・ 会場に備え付けの消毒液で、手指消毒をお願いします。
- ・ 大会参加中は、マスクの着用をお願いします。
- ・ 水分補給を除いて、会場内での飲食はお控えください。特に、会場内での昼食は、学内ルールにより認められていません。
- ・ その他、感染防止対策にご協力ください。

2022 年度環境アセスメント学会第 21 回大会開催について

2022 年度環境アセスメント学会第 21 回大会は、東京工業大学大岡山キャンパスでの現地開催とともに、オンラインによる参加も含めたハイブリッドによる開催とする旨をこれまで学会誌や学会ホームページでご案内してきました。

新型コロナウイルスの感染状況にもよりますが、現時点で想定される以上の急激な拡大がなく、大会会場として予定している大学キャンパスの使用制限に大きな変更がない限り、ハイブリッドの形で開催することとしています。本学会としては 3 年ぶりの会場開催となり、加えてオンラインによる同時開催となることから、当日の運営が円滑に進むよう準備を進めておりますが、ご参加いただく会員の皆様におかれましても、大会の運営にご協力いただきますようお願い申し上げます。

環境アセスメント学会第 21 回大会実行委員長 村山武彦
(副会長・理事 東京工業大学)

【参加申込等に係る注意事項】

- ・大会に参加される方は、原則として、事前の大会参加申込と参加費振込が必要となります。オンラインの併用により当日の大会運営が煩雑になると想定されることから、会場での参加費の支払い受付は最小限にさせていただきます。
- ・学会ホームページに掲載の方法で参加申込及び参加費振込をお願いします。大会の参加申込の締切は 8 月 26 日（金）です。
- ・オンライン参加に必要な ID 等及び要旨集ダウンロードの情報は、事前申し込みをいただいた方にメールでお送りします。
- ・なお、開会式及びシンポジウム「環境影響評価の多様な発展に向けて」は一般公開としますの
で、参加申込のみで参加いただけます。この場合、配布資料は発行いたしません。

環境アセスメント学会第 21 回大会実行委員会

村山武彦	東京工業大学	実行委員長
錦澤滋雄	東京工業大学	副実行委員長
荒井眞一	上智大学	創立 20 周年記念事業特別委員会
伊東英幸	日本大学	
佐藤律子	日本工営(株)	企画委員会
柴田裕希	東邦大学	
竹内彩乃	東邦大学	
長岡 篤	千葉商科大学	
宮下一明	(株)東京久栄	行事委員会

2022年度 第21回大会プログラム

日程：2022年9月2日（金）、3日（土）

方法：東京工業大学大岡山キャンパス及びオンライン参加によるハイブリッド開催

大会スケジュール・プログラム概要

大会1日目（9月2日、金曜日） 西9号館

09:00- 受付開始（2階）		
—	09:30-10:30 3階(W934)・Zoom第2会場 セッション①【3件】 「予測・評価（1）」	09:30-10:30 3階(W935)・Zoom第3会場 セッション②【3件】 「次世代のアセス他（1）」
10:30-10:40 休憩		
10:40-12:00 2階・Zoom第1会場 特別集会1 「環境社会配慮の歩みと今後の展望」 （二宮浩輔）	10:40-11:40 3階(W934)・Zoom第2会場 セッション③【3件】 「再エネ（1）」	10:40-11:40 3階(W935)・Zoom第3会場 セッション④【3件】 「自然・生態系」
12:00-13:00 昼食		
13:00-14:00 2階 メディアホール ポスターセッション 【7件】		
14:00-14:10 休憩		
14:10-14:25 2階・Zoom ウェビナー形式 開会式 開会挨拶 藤田 八暉（本学会会長／久留米大学） メッセージ Gaby Factor（President of IAIA）		
14:25-14:45 2階・Zoom ウェビナー形式 奨励賞受賞記念講演 実務部門受賞者 海老原 学（大日本コンサルタント㈱） 「都市近郊を対象としたカワセミのHSIモデルの構築と環境アセスメント等実務での適用について」		
14:45-14:50 休憩（会場設営）		
14:50-17:20 2階・Zoom ウェビナー形式 シンポジウム「環境影響評価の多様な発展に向けて」 14:50-14:55 企画趣旨の説明 村山 武彦（大会実行委員長／東京工業大学教授） 14:55-16:15 話題提供 健康影響評価 藤野 善久（産業医科大学教授） 社会影響評価 入江 賀子（愛媛大学准教授）、川原 尚子（近畿大学教授） 累積影響評価 浦郷 昭子（有限会社レイヴン） 持続可能性評価 柴田 裕希（東邦大学准教授）		
16:15-16:20 休憩		
16:20-17:20 パネルディスカッション コーディネーター 田中 充（本学会前会長、法政大学名誉教授） パネリスト 上記報告者 等		

大会 2 日目 (9 月 3 日、土曜日) 西 9 号館

08 : 30- 受付開始 (2 階)		
—	08 : 40-10 : 00 3 階 (W934) ・ Zoom 第 2 会場 セッション⑤【4 件】 「制度」	08 : 40-10 : 00 3 階 (W935) ・ Zoom 第 3 会場 セッション⑥【4 件】 「市民参加」
10 : 00-10 : 10 休憩		
10 : 10-11 : 30 2 階 ・ Zoom 第 1 会場 特別集会 2 「市民活動の立場から 考えるこれからのアセスメント」 (吉田正人、傘木宏夫)	10 : 10-11 : 30 3 階 (W934) ・ Zoom 第 2 会場 セッション⑦【4 件】 「諸外国 ・ 国際」	10 : 10-11 : 30 3 階 (W935) ・ Zoom 第 3 会場 セッション⑧【4 件】 「予測 ・ 評価 (2)」
11 : 30-11 : 40 休憩		
—	11 : 40-13 : 00 3 階 (W934) ・ Zoom 第 2 会場 セッション⑨【4 件】 「次世代のアセス他 (2)」	11 : 40-12 : 40 3 階 (W935) ・ Zoom 第 3 会場 セッション⑩【3 件】 「再エネ (2)」
13 : 00-13 : 10 休憩		
13 : 10-13 : 20 2 階 ・ Zoom 第 1 会場 ポスター賞表彰 / 閉会式	—	

【オンラインでシンポジウムに参加される方への注意事項】

- ・ 大会実行委員会よりメールで送付された URL と参加者 ID を用いて、名前を「ID+氏名 (例 : 906 垂瀬須太郎) ※必ず参加登録された本名のフルネームを使ってください。ニックネームでの参加は拒否されます。」として Zoom ウェビナーに入室してください。
- ・ 質疑応答において、ご意見・ご質問がある方は、「Q&A」のボタンを押して記入ください。最初に所属と氏名ご記入いただき、その後、ご意見・ご質問を記入してください。係員が代読させていただきます。
- ・ 時間の関係上すべてのご意見・ご質問を紹介できないこともあります。

【オンラインで特別集会・一般研究発表に参加される方への注意事項】

- ・ 大会実行委員会よりメールで送付された URL と参加者 ID を用いて、名前を「ID+氏名 (例 : 906 垂瀬須太郎) ※必ず参加登録された本名のフルネームを使ってください。ニックネームでの参加は拒否されます。」として Zoom ミーティングに入室してください。
- ・ 入室に当たっては時間に余裕を持ってください。実行委員会で確認できるまで待機室でお待ちください。
- ・ Zoom ミーティングに入る際には、講演者の邪魔にならないよう、マイクのミュート並びにカメラを停止してください。
- ・ 発表や質疑応答の妨げにならないようにしてください。座長 (ホスト) が強制的にミュートや

ビデオの停止を行うことがあります。

- ・ 質疑応答において、ご意見・ご質問がある方は、「反応」の「挙手」ボタンを押してください。座長（ホスト）から指名されたら、ビデオをオンにし、マイクのミュートを外してお話しください。最初に所属と氏名を名乗ってください。時間の関係上すべてのご意見・ご質問を紹介できないこともあります。
- ・ 講演を録音・録画しないでください。「レコーディング」ボタンがありますが、許可されません。

【大会会場でのインターネット環境について】

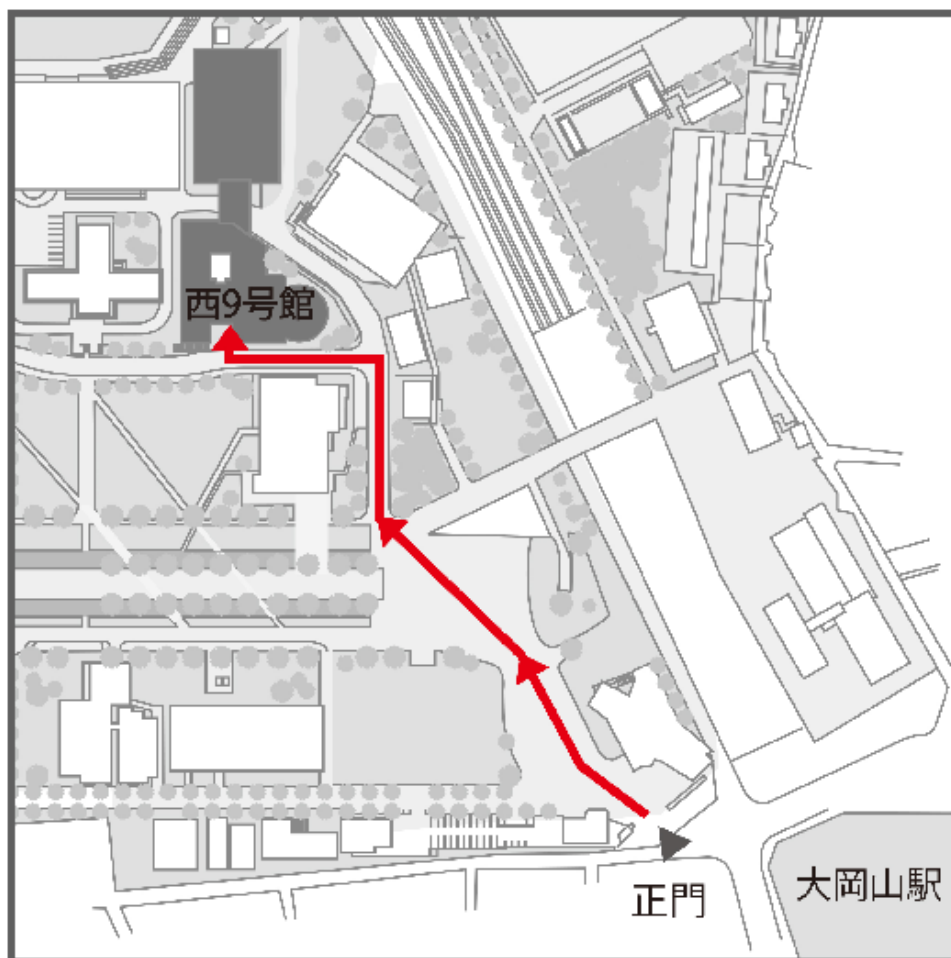
- ・ 大会期間中は以下の WiFi が使用できます。ご利用ください。

SSID : jsia2022meeting

パスワード : dai21kai-taikai

※会場で Zoom 接続する場合は、ハウリング防止のためスピーカーを必ず OFF にしてください。

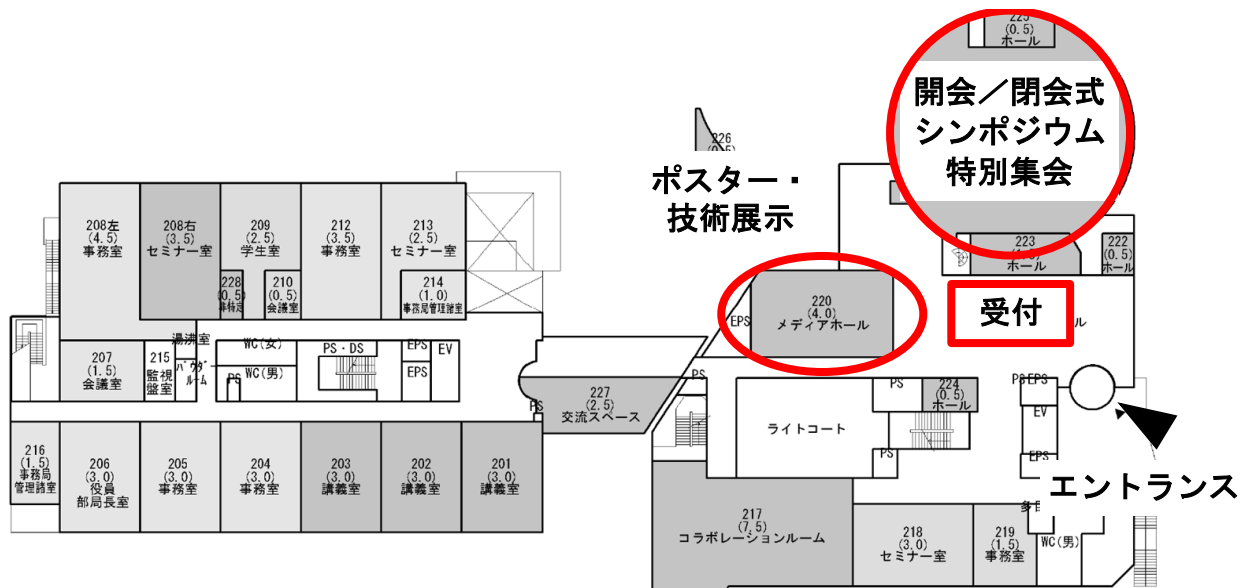
大岡山駅から会場へのアクセス



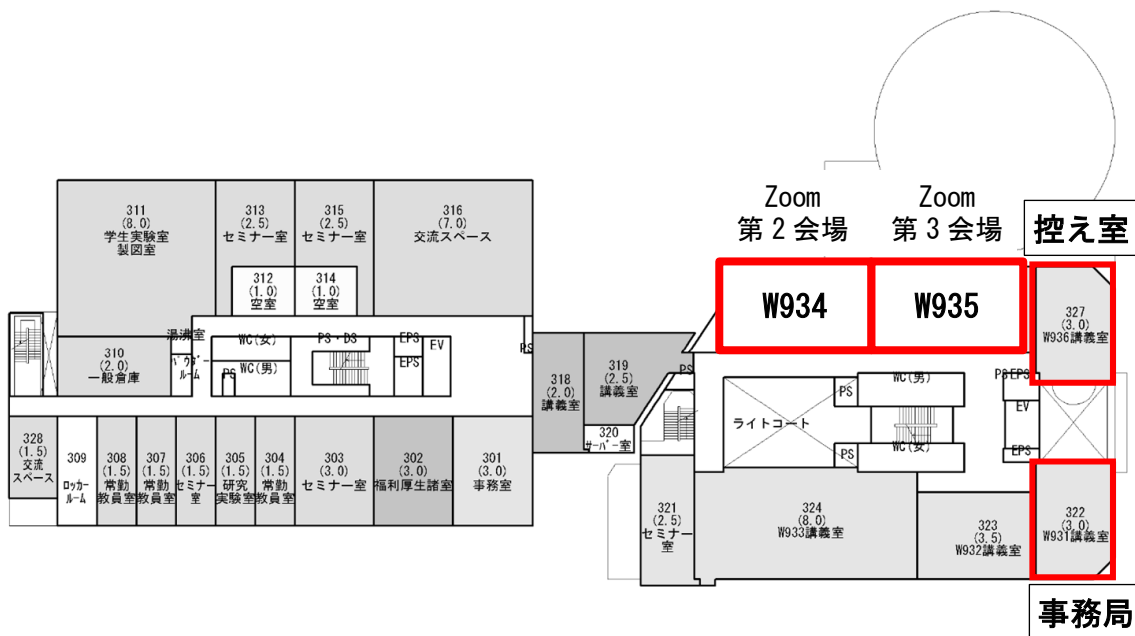
会場概略図

西9号館2階（開会式、全体会・シンポジウム、特別集会、ポスター・技術展示、ポスター表彰／閉会式）

（Zoom 第1会場、ウェビナー）



西9号館3階（一般研究発表）



プログラム詳細

公開シンポジウム

大会実行委員会・企画委員会・若手研究会主催 公開シンポジウム
「環境影響評価の多様な発展に向けて」

■開催趣旨

環境アセスメント学会は、2002年の創立から20年を迎え、今年度は去る5月21日（土）に創立20周年記念式典が開かれるとともに、今年度の年次大会も20周年特別事業の一環として開催されることになっている。これまでのアセスメントを振り返り、今後の展望を見据える方向で若手研究会が座談会「これまでの環境アセスメント制度を振り返る」を昨年、開催し、学会誌（Vol. 20、No. 2）に掲載されているが、本シンポジウムでは、国内の環境アセスメント制度から少し離れ、いわゆる「環境」に対する影響だけでなく、Impact Assessmentに重点を置いた様々な影響評価に話題提供をお願いし、今後の20年を見据えたアセスメント制度のあり方について論じることを目指す。

■日時

2022年9月2日（金）14：50～17：20

■場所

東京工業大学大岡山キャンパス西9号2F（デジタル多目的ホール）・Zoomウェビナー形式

■進行

1) 趣旨説明

村山武彦（大会実行委員長/東京工業大学教授）

2) 話題提供

- (1) 健康影響評価 藤野 善久（産業医科大学教授）
- (2) 社会影響評価 入江 賀子（愛媛大学准教授）、川原 尚子（近畿大学教授）
- (3) 累積影響評価 浦郷 昭子（有限会社レイヴン）
- (4) 持続可能性評価 柴田 裕希（東邦大学准教授）

3) パネルディスカッション

コーディネーター 田中 充（本学会前会長、法政大学名誉教授）

パネリスト 上記報告者 等

■その他

会場での開催とともに、オンラインによる参加も可能です。ただし、新型コロナウイルスの今後の動向により変更する場合があります。

一般研究発表プログラム及び特別集会（注：肩書きは報告者のみ、発表時間+質疑は各20分、
発表形式：○現地発表、●オンライン発表）

大会1日目（9月2日、金曜日） 西9号館

■3階（W934）・Zoom第2会場

セッション①「予測・評価（1）」 座長：宮下一明（学会常務理事） （座長補佐：矢代幸太郎）

1	09:30-09:50	「土地利用に係る既往制度への環境影響評価技術適用の具体化に関する検討」 ○尾原正敬（(一社)日本環境アセスメント協会、千代田コンサルタント）、安藤伸彦、小野寺一剛、中田俊宏、森本尚弘
2	09:50-10:10	「南極地域における環境アセスメントとしての新規大気調査法の提案:大気バイオエアロゾル観測」 ●小林史尚（弘前大学）
3	10:10-10:30	「HSIモデルを用いたミゾゴイ生息環境の影響予測及びその結果の検証」 ●大谷正太（株式会社エイト日本技術開発）、根本勝、三原義朗

■3階（W935）・Zoom第3会場

セッション②「次世代のアセス他（1）」 座長：上杉哲郎（学会常務理事） （座長補佐：長岡篤）

1	09:30-09:50	「グリーンインフラの事例を対象とするポジティブ・アセスメントに関する研究」 ○柴田勝史（(一社)日本環境アセスメント協会、株式会社プレック研究所）、浅田実希、石崎伸次、隈清悟、森本尚弘
2	09:50-10:10	「環境調査・環境影響評価等におけるAI等活用検討」 ○福池晃（(一社)日本環境アセスメント協会・ムラタ計測器サービス(株)）、山下道子、横溝孝幸、魚井夏子、中村亮、秋山晋一、尾原正敬、森本尚弘
3	10:10-10:30	「環境アセスメント研究の動向：1970年初頭から半世紀を対象に」 ●長澤康弘（東京工業大学）、錦澤滋雄

■3階（W934）・Zoom第2会場

セッション③「再エネ（1）」 座長：傘木宏夫（学会常務理事） （座長補佐：橋立佳央理）

1	10:40-11:00	「太陽電池発電施設の事業終了後を対象とした環境影響評価の検討」 ○中田俊宏（(一社)日本環境アセスメント協会／(株)ポリテック・エイディディ）、尾原正敬、安藤伸彦、小野寺一剛、森本尚弘
2	11:00-11:20	「風力発電所における統合調査に基づく風車への衝突個体の発見率」 ●北野雅人（株式会社竹中工務店）、Smallwood, K. S、深谷肇一
3	11:20-11:40	「地熱発電所の環境アセスメントにおける硫化水素測定効率化の取り組み」 ○岡田真秀（東北緑化環境保全株式会社）、土屋郷、平良千鶴子、青木一樹

■3階 (W935)・Zoom 第3会場

セッション④「自然・生態系」

座長：花岡千草（東洋大学）

（座長補佐：土門優介）

1	10:40-11:00	「環境DNAを用いたアユ親魚の堰降下状況のモニタリング事例」 ○小島雅史（(株)荒谷建設コンサルタント）、安東新吾
2	11:00-11:20	「日本版生物多様性バンク「里山バンク」の防災機能に関する研究」 ○後藤圭輔（東京都市大学）、田中章
3	11:20-11:40	「自然共生サイトの認定制度の実効性に関する研究」 ●川村昂史（東京都市大学）、城木毅、山根綾恋、田中章

■2階 (デジタル多目的ホール)・Zoom 第1会場

・特別集会1「環境社会配慮の歩みと今後の展望」

コーディネーター：二宮浩輔（山梨県立大学・環境社会配慮研究会長）

・開催趣旨

環境社会配慮研究会は2014年に活動を開始し、これまで8年間にわたって、国際開発における環境社会配慮に関する様々なテーマを対象に研究会活動を行ってきた。

本集会は、学会設立20周年の節目に当たり、この間の環境社会配慮に関する国内外の動向を振り返るとともに、今後の環境社会配慮の展望について、広く知見を共有し、建設的な意見交換を行うことを目的として開催する。

1	10:40-10:50	趣旨説明 ○二宮浩輔（山梨県立大学・環境社会配慮研究会長）
2	10:50-11:05	「JICA環境社会配慮ガイドライン改定の論点と運用の見通し」 ●原嶋洋平（拓殖大学）
3	11:05-11:20	「JICA環境社会配慮助言委員会の貢献と課題-保護区条項、重要生息地保護を中心として-」 ●米田久美子（自然環境研究センター）
4	11:20-11:35	「開発金融機関におけるセーフガードの近年の動向」 ○辻昌美（明治大学）
5	11:35-11:45	コメント ○作本直行（JETRO・アジア経済研究所名誉研究員）
6	11:45-12:00	意見交換・まとめ

大会2日目(9月3日、土曜日) 西9号館

(発表形式: ○現地発表、●オンライン発表)

■3階(W934)・Zoom第2会場

セッション⑤「制度」

座長: 佐藤律子(学会理事)

(座長補佐: 尾原正敬)

1	08:40-09:00	「アンケート調査に基づく環境影響評価と都市計画手続きの関係性についての考察」 ○長田篤佳(大成建設株式会社)、山岸丈二、皆川克志、下條肇、岩沢進、濱田敏宏、田中章
2	09:00-09:20	「地域特色を活かした条例制度に関する調査・研究」 ○吉留雅俊((一社)日本環境アセスメント協会、パンフィックコンサルタンツ株式会社)、佐藤久成、水野洋輔、隈清吾、森本尚弘
3	09:20-09:40	「中国における生物多様性オフセットの動向に関する研究」 ●陳純(東京都市大学)、田中章
4	09:40-10:00	「環境影響評価法の最新の動向について」 ○豊村紳一郎(環境省)、會田義明、森田紗世、橋立佳央理

■3階(W935)・Zoom第3会場

セッション⑥「市民参加」

座長: 辻阪吟子(プレック研究所)

(座長補佐: 伊東英幸)

1	08:40-09:00	「準備書への首長意見を根拠とした住民監査請求の取組」 ○傘木宏夫(NPO地域づくり工房)、垣井清澄
2	09:00-09:20	「リニア中央新幹線の環境影響評価に係る住民説明会の参加要因の分析ー山梨県を対象としてー」 ○伊東英幸(日本大学)、坂珠希、藤井敬宏
3	09:20-09:40	「環境影響評価手続きにおける周知・住民参加に関する調査・研究」 二川郁子、○大川壮一((一社)日本環境アセスメント協会、大成建設株式会社)、茂木哲一、隈清悟、森本尚弘
4	09:40-10:00	「HEP理念普及のための体験型プログラムの開発」 ○浅見友里(東京都市大学)、市川悠貴、田中章

■3階(W934)・Zoom第2会場

セッション⑦「諸外国・国際」

座長: 二宮浩輔(山梨県立大学)

(座長補佐: 柴田裕希)

1	10:10-10:30	「米国におけるウェットランドを対象とした代償ミティゲーションの在り方とIn-lieu Feeプログラムの動向」 ○城木毅(東京都市大学)、芦朋也、田中章
2	10:30-10:50	「アジアの開発金融機関における生物多様性オフセット義務に関する研究」 ○井上結貴(東京都市大学)、田中章、アビカマ・アルフォンス、武嘉祿
3	10:50-11:10	「ラオス国ビエンチャン市都市交通マスタープラン(VTMP)改訂調査における参加型戦略的環境アセスメント(SEA)実施支援に関する一考察」 ●林田貴範((株)国際開発センター)
4	11:10-11:30	「環境分野におけるノーネットロス目標についての研究」 ●阿部旭秀(東京都市大学)、田中章

■3階 (W935)・Zoom 第3会場

セッション⑧「予測・評価 (2)」 座長：真田純子 (学会常務理事) (座長補佐：長島匠)

1	10:10-10:30	「自動車排ガス規制による自動車騒音及び騒音予測への影響に関する調査」 ○門屋真希子
2	10:30-10:50	「水質保全を目的とした伊豆大島産火山礫の水質ろ過材としての可能性に関する研究」 ○林直樹 (東京都市大学)、田中章
3	10:50-11:10	「環境影響評価で環境音や対象事業音を統計的に正しく判定する方法—統計的な確率評価を採用する提案—」 ○内田英夫 (東京農業大学)、岡澤宏
4	11:10-11:30	「環境影響評価における定量的な予測及び評価手法の実用化に向けた事例研究」 ●東郷有城 ((一社)日本環境アセスメント協会、自然環境影響評価技法研究会/国際航業株式会社)、辻阪吟子、松岡明彦、定月歩今、松宮綾香、松宮里那、渡辺弘生、才木祥史、吉沢清晴、渡部陽介、渡邊千佳子

■2階 (デジタル多目的ホール)・Zoom 第1会場

- ・特別集会2「市民活動の立場から考えるこれからのアセスメント」

コーディネーター：吉田正人 (筑波大学大学院)、傘木宏夫 (NPO 地域づくり工房)

- ・開催趣旨

持続可能な社会の構築、再生可能エネルギーの普及、参加型社会の推進など、環境アセスメントをめぐる社会状況は大きく動いている。こうした中、環境アセスメントの制度や考え方を市民活動の中で活かして取り組んでいるNGO関係者より「より良いアセスメント」について、その実践と問題意識を紹介していただき、大会参加者と交流する。

1	10:10-10:15	趣旨説明 ○傘木宏夫 (NPO地域づくり工房)
2	10:15-11:05	話題提供 (五十音順、一人12分) 「京都府丹後半島における大規模風力発電計画に関わる取組」 ●浦島清一 (風の半島TANGO) 「2025万博・大阪IR会場地「夢洲」に対する環境アセスメントの取組み」 ●武田かおり (AMネット事務局長) 「生物多様性からみた大阪万博の環境影響評価」 ●夏原由博 (大阪自然環境保全協会会長) 「昭島市における巨大物流センター開発に対する市民活動」 ●長谷川博之 (昭島環境フォーラム代表)
3	11:05-11:10	コメント ●吉田正人 (筑波大学大学院)
4	11:10-11:25	意見交流
5	11:25-11:30	まとめ

■3階 (W934)・Zoom 第2会場

セッション⑨「次世代のアセス他(2)」 座長：浦郷昭子(学会理事) (座長補佐：長澤康弘)

1	11:40-12:00	「神宮外苑再開発計画の持続可能性アセスメント」 ○原科幸彦(千葉商科大学)
2	12:00-12:20	「気候変動に伴う影響を考慮した環境アセスメント手法の検討」 ○渡邊英明((一社)日本環境アセスメント協会/㈱環境管理センター)、青木淳、黒田琴絵、平尾実、尾原正敬、森本尚弘
3	12:20-12:40	「累積・複合影響を考慮した環境アセスメントの取組事例集の作成」 ○鷹野まい((一社)日本環境アセスメント協会/㈱オオバ)、赤塚利之、土門優介、山本庸介、吉田豪、森本尚弘
4	12:40-13:00	「国際標準マネジメントシステム規格と持続可能性アセスメントの関係性～ISO14001とISO20121を事例として」 ●山本芳華(平安女学院大学)

■3階 (W935)・Zoom 第3会場

セッション⑩「再エネ(2)」 座長：荒井歩(学会理事) (座長補佐：竹内 彩乃)

1	11:40-12:00	「高層気象観測のドローン適用可能性と環境配慮」 ○佐藤久成(東北緑化環境保全株式会社)、笹川健一、小野寺孝典、江目順一
2	12:00-12:20	「地域共生型再生可能エネルギーの導入に向けた環境省の取組」 ○森田紗世(環境省)、石井桃花、柳川立樹
3	12:20-12:40	「k.LABを用いた日本の陸上風力の立地選定評価モデル開発に係る研究」 ○長島匠(名古屋大学)、林 希一郎、Stefano Balbi

ポスターセッション（注：肩書きは主報告者のみ）

【コアタイム 9月2日（金）13：00-14：00】2階 メディアホール

※「若手部門」は優秀ポスター賞の候補となります。

1	「太陽光発電事業の環境アセスにおける景観への影響に対する着眼点」 ○中島健留（東京農業大学）、荒井歩	若手
2	「簡易型森林の炭素ストック量推計手法に関する研究」 ○早川昂汰（名古屋大学）、林希一郎、竹島喜芳、杉田暁、町村尚	若手
3	「SDGsと環境アセスメントの関係性に関する研究」 ○齋木美悠（一般社団法人日本環境アセスメント協会／ジェイアール東海コンサル タantz株式会社）、岩沢進、小川遼、宮田洋実、山岸丈二、濱田敏宏	一般
4	「横浜市の都市的土地利用におけるNDVIを用いた緑被率評価」 高野温生、○宮崎いつ歌（東邦大学）、柴田裕希	若手
5	「埼玉県における環境影響評価制度の運用」 ○羽根尾侑樹（埼玉県）、鶴見恒、赤松真一、安村雄一郎	一般
6	「自動車のヘッドライト点灯によるヤンバルクイナの挙動分析」 ○笠木一樹（日本大学）、五島真帆、黒田ゆうび、向真一郎、伊東英幸、藤井敬宏	若手
7	「Strengthening and Challenges on Social Consideration in Development-Induced Land Acquisition and Resettlement based on Field Experiences」 ○Nyandaro Jonathan Mteki（日本工営株式会社）	若手

技術展示

2階 メディアホール

1	「土壌藻類を活用した表面侵食防止工法(BSC工法)」	日本工営株式会社 環境部
2	「レーザー計測システム LMS」	極東貿易株式会社
3	「上空気象観測ドローン」	ムラタ計測器サービス株式会社

学会創立 20 周年おめでとうございます。

自然を識り、豊かな未来につなぐ



株式会社東京久栄

TOKYO KYUEI CO., LTD.

- ✓ 環境コンサルタント
- ✓ 海洋エンジニアリング
- ✓ 水中メンテナンス
- ✓ 新領域（再エネ、地域振興）

〔本 社〕 東京都千代田区岩本町 2-4-2

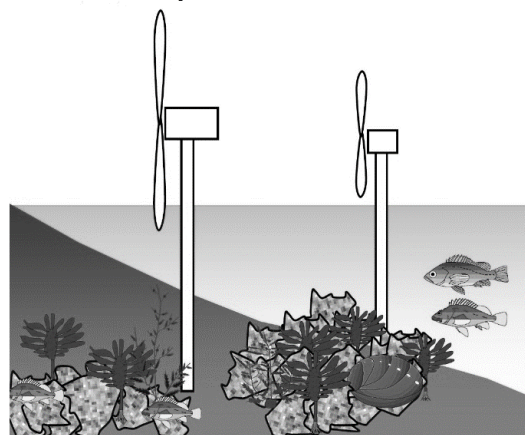
江戸新金網ビル 4F, 7F

〔技術センター〕 埼玉県川口市芝 6906-10

〔支店/営業所〕 九州/ 千葉、磯部、

四国、広島、沖縄、

ジャカルタ

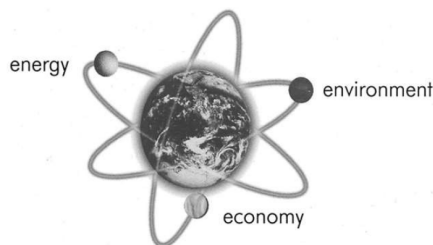


【藻場造成による漁業振興イメージ】

JANUS

持続可能な未来のために——

- 環境技術コンサルティング
- エネルギー技術コンサルティング
- システム工学技術コンサルティング
- エネルギー／環境経済コンサルティング



日本エヌ・ユー・エス株式会社

本 社 〒106-0023 東京都新宿区西新宿 7-5-25

Tel 03-5925-6710（大代表） Fax 03-5925-6715（大代表）

<http://www.janus.co.jp/>

事業所等 横浜オフィス（横浜市） 青森（六ヶ所村）

福島浜通り（いわき市） 新潟（刈羽村）

名古屋（名古屋市） 沖縄（那覇市）

JNK Environmental Research & Consulting Co., Ltd.（ベトナム）

未来を切り拓く環境アセスメント

2022 年度主要施策

- 再生可能エネルギー分野に関する環境影響評価の進展への貢献
- 新型コロナや大規模自然災害等の自然的・社会的リスクの時代に
適応した活動の推進
- 支部活動の活性化
- 海外交流によるアジア等地域の持続的発展への貢献
- 「環境アセスメント士」の活躍の場の拡大

「環境アセスメント士」 認定資格試験

「環境アセスメント士」認定資格制度は、環境アセスメントに専門特化した資格制度であり、(一社)日本環境アセスメント協会が環境アセスメント実務者の専門的な技術・技能を認定するものです。本資格制度による「環境アセスメント士」有資格者数は、現時点で総勢約 650 名に達しました。

2022 年度の認定資格試験は、11 月 23 日(水・祝)に実施します。

<2022 年度 認定資格試験の概要>

【資格部門】: 「生活環境部門」並びに「自然環境部門」

【受験資格】: 四年制大学卒; 実務経験 5 年以上、大学院卒; 3 年以上、左記以外; 8 年以上

【試験科目】: 3 科目(業務経験、専門知識・共通基礎、管理技術等)

【試験日時】: 2022 年 11 月 23 日(水・祝)

【試験場所】: 仙台、東京、大阪、福岡

(問合せ先) 資格・教育センター

TEL : 03-3221-6731 FAX : 03-3221-6732 E-mail : a-qec@jeas.org

(一社)日本環境アセスメント協会 (JEAS)

〒102-0092 東京都千代田区隼町 2-13 US 半蔵門ビル 7F

TEL : 03-3230-3583 FAX : 03-3230-3876 E-mail : jeas@jeas.org



詳しい協会活動の内容、入会申込み等は、ホームページ
(URL: <https://www.jeas.org>)をご覧ください。

